

かわさき 図書館だより



図書館ホームページ: <http://www.library.city.kawasaki.jp/>

2018かわさき読書週間イベント情報

10月28日(日)
～11月10日(土)は
「かわさき読書週間」です!

「読書のまち・かわさき」では、「かわさき読書の日」(11月第1日曜日)をはさんだ2週間を「かわさき読書週間」とし、図書館や学校などで様々な取組を行っています。今年も読書週間を中心に、子どもから大人まで楽しめるイベントを開催いたします。ぜひご参加ください。

主催: 川崎市立図書館 問合せ: 中原図書館 電話 722-4932	10月22日(月) 18:30～20:30	平成30年度 川崎市立図書館読書普及講演会 「木村草太流 本とのつきあい方」 講師: 木村草太氏 ※詳細は2面
川崎図書館 大師分館 田島分館	12月1日(土) 10:00～15:00	川崎・大師・田島合同企画「おはなしキャラバン」 おはなし会・紙しばい・てあそびなど 会場: 教育文化会館 (川崎区社協福祉まつりの中で行います)
川崎図書館	10月16日(火)～11月18日(日)	川崎区内の学校図書館ボランティア紹介展示 会場: 川崎図書館内廊下展示スペース
幸図書館	10月26日(金) 15:30～16:00	10月のおはなし会 会場: 幸市民館 音楽室 人形劇や大型絵本の読み聞かせ
	10月29日(月)～11月11日(日)	幸区の読書活動紹介展示 会場: 幸図書館 児童コーナー 図書館で活動しているグループや学校図書館ボランティアの活動紹介
	11月7日(水) 15:00～15:40	おはなしワールド 会場: 幸市民館 音楽室 外国語と日本語での絵本の読み聞かせなど
	11月10日(土) 13:30～15:30	大人のための朗読会 会場: 幸市民館 音楽室 演目(予定)「鼓くらべ」(山本周五郎) 他
日吉分館	10月20日(土) 13:30～14:30	ストーリーテリング秋のおはなし会
中原図書館	11月2日(金)～11月4日(日) 2日 13:00～16:00 (展示のみ) 3日 10:00～16:00 4日 10:00～15:00	なかはらこどもとしょかん「ほんのもり」 会場: 中原図書館 多目的室 絵本の読み聞かせ・絵本展示・中原図書館&学校図書館ボランティア紹介展示、工作コーナー、図書のリユースコーナー ほか
高津図書館	11月2日(金)～11月11日(日)	読書週間関連展示
橘分館	11月3日(土)～11月4日(日)	リユース本の配布 等
	11月4日(日) 11:00～11:45	どんぐり広場 おはなし会 等
宮前図書館	10月14日(日) 13:30～14:00	人形劇 会場: 宮前市民館3階視聴覚室
	11月17日(土) 10:00～11:30	親子で科学の玉手箱「～科学マジックに挑戦しよう～」 会場: 宮前市民館4階実習室
多摩図書館	10月20日(土)～10月28日(日) 9:30～16:00	多摩区の読書活動紹介展示 会場: 多摩図書館 整理室 図書館で活動しているボランティアグループや学校図書館ボランティアの紹介展示を行います。おすすめの児童書の展示なども。
	10月28日(日) 11:00～11:40	秋のおはなし会 会場: 多摩図書館 整理室 大型絵本「どんどこ ももんちゃん」「こんとあき」 他
	10月30日(火) 18:30～20:00	第21回読書普及文化講演会「岸本葉子講演会 ～がんを知る、がんから知る～」 会場: 多摩市民館 大ホール
麻生図書館	11月7日(水) 15:00～15:40	「秋の親子おはなし会」～人形劇を楽しもう～ 会場: 麻生市民館 大会議室
柿生分館	10月31日(水) 前半 14:45～ 後半 15:10～	おりがみひろば 会場: 柿生分館 閲覧室
	11月7日(水) ①14:45～15:05 ②15:10～15:40	秋のおはなし会 会場: 柿生分館 閲覧室
教育委員会指導課	11月4日(日) 13:30～16:00	第16回かわさき読書の日をつどい 会場: 中原市民館 多目的ホール 作家・くすのきしげのり氏による講演会、読書活動優秀団体表彰式、児童生徒の入賞作品(読書ポスター・標語など)の表彰・作品展示

天候等の事情により変更する場合があります。申込方法・会場など詳しくは図書館ホームページに掲載しています。
お問い合わせは各図書館(「読書の日をつどい」は教育委員会指導課 電話044-200-3243)へ。

高津図書館 休館のご案内

高津図書館は、工事のため下記の日程で休館いたします。
休館期間: 平成30年10月22日(月)～11月1日(木) ※返却ポストはご利用いただけます。
お問い合わせは 高津図書館 電話044-822-2413 FAX044-844-7594

「木村草太流 本とのつきあい方」



読書の意義、自身の読書体験、お気に入りの本のことなど、読書にまつわるあれこれについてお話しいたします。

講師：木村 草太氏

日時 平成30年10月22日(月)
午後6時30分～8時30分

会場 中原市民館 2階
多目的ホール（武蔵小杉駅下車・徒歩5分）

定員 300名（全席自由）

申込み 10月5日(金) 午前10時からいずれかの方法でお申込みください。

(1) 市立図書館・分館・閲覧所カウンターにある申込書にご記入の上、市立図書館各館の所定のカウンターまでお持ちください。

（整理券をお渡しします。お1人2枚まで）

(2) 電話（中原図書館 044-722-4932）でお申込みください（2名分まで）。

※先着順です。定員になり次第締め切ります。

問合せ 中原図書館（電話044-722-4932）

講師紹介

木村 草太 (きむら・そうた)

1980年神奈川県横浜市生まれ。東京大学法学部卒業後、同大学助手、首都大学東京准教授を経て、現在、首都大学東京教授。専攻は憲法学。テレビやラジオなどメディアにも多数出演。著書に『キヨミズ准教授の法学入門』、『テレビが伝えない憲法の話』、『社会をつくる「物語」の力』、『子どもの人権をまもるために』、『自衛隊と憲法』など。趣味は将棋、読書。



木村草太氏

©岩沢蘭

第36回

We Love!
KAWASAKI

このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本について、テーマを設けて紹介しています。

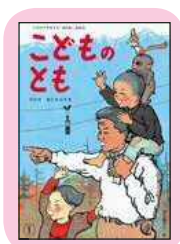
絵本作家・かこさとしさんが惜しまれつつも5月2日にご逝去されました。川崎にゆかりが深く、絵本を通して子どもたちを愛情深く見つめてこられました。工学博士として多くの科学絵本を世に送り出してきたことでも知られています。あらためて、かこさんの作品に込められた想いに触れてみませんか。

A：『だむのおじさんたち』 加古里子 さく・え 福音館書店 1959年／1976年

かこさとしさんの記念すべき絵本デビュー作です。

ダム建設現場のおはなしですが、この本の主役はダムではなく、「人」です。

作者は、あとがきで次のように言っています。“大きなダムのことより、それをつくった人々のこと—その人々の苦勞や、よろこびや、悲しみや—人間の労働というものすばらしさ”。この絵本に込められた当時の作者の想いを読み取ることができます。力強いタッチで描かれた人物画と文章は、読む者の心を揺さぶります。



こどものとも
だむのおじさんたち
加古里子さく・え 福音館書店

B：『宇宙—そのひろがりをしろう—』 加古里子 ぶん・え 福音館書店 1980年

私たちのいる宇宙は、いったいどこまで広がっているのでしょうか。ノミや昆虫、動物から恐竜まで様々な大きさの生き物が次々と登場し、ページを開くたびに私たちの住む世界が広がっていきます。大地から空へ…空から宇宙へ…空間の広がりが連続性をもって描かれることで、人類が歩んできた歴史、私たちが普段何気なく生活している地球、そして果てしなく広がる宇宙の大きさを絵本を通じて実感することができます。

資料集めに10年かかった本作は宇宙という壮大なテーマをできるだけやさしく、分かりやすく伝えたいという作者の想いが伝わってくる科学絵本です。



宇宙
—そのひろがりをしろう—
加古里子ぶん・え 福音館書店

C：『かこさとし 人と地球の不思議とともに』 河出書房新社 2017年

「だるまちゃん と てんぐちゃん」刊行から50周年記念の年に、科学絵本に重点を置いた本として出版されました。冒頭のかこさとしインタビューでは、科学の本の作り方と題して、絵本を書くことになったエピソードが語られており、絵本作家かこさとしの“始まり”を垣間見ることができます。その他にも、手書き原稿や「宇宙—そのひろがりをしろう—」の下絵、かこさとし自筆で研究者としての活動をまとめたメモ等、貴重な資料が掲載されています。また、工学博士・藤島昭氏や解剖学者・養老孟司氏との対談も収録されています。



かこさとし
人と地球の不思議とともに
河出書房新社

ど存知
ですか？

学校の図書室を一般開放しています！

～ 学校図書館有効活用事業 ～

市内10校の学校図書館（図書室）を一般開放し、図書の閲覧・貸出サービスを行っています。

学校図書館の本（生徒向けの本）は一部を除き館内閲覧のみですが、大人向けの本もご用意していますので、子どもから大人まで、地域の皆様に読書を楽しんでいただけます。

また、学校図書館内の机は自由にご利用可能ですので、学習スペースとしてもご利用いただけます。

開放日時は主に土・日曜の正午前後です。休日の昼下がりには、普段ご利用の図書館とはまた違う雰囲気の中で読書を楽しませてはいかがでしょうか。



本の貸出には市立図書館とは別の専用カードの発行が必要です。

初めてご利用の方は、お名前・ご住所の確認できるもの（健康保険証・運転免許証など）をお持ちのうえ、開放日に受付でお申込みください。

開放学校一覧

※学校の都合により変更する場合があります。

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| ★ 井田小学校（毎週土・日曜11:00～15:00） | ★ 土橋小学校（毎週日曜・隔週土曜10:00～14:00） |
| ★ 下河原小学校（月2回土曜9:00～13:00） | ★ 宿河原小学校（毎週日曜10:00～14:00） |
| ★ 西梶ヶ谷小学校（毎週土・日曜10:00～14:00） | ★ 南菅中学校（毎週土曜11:00～15:00） |
| ★ 久地小学校（第2・第4土曜10:00～13:00） | ★ 岡上小学校（第1・第3土曜10:00～12:00） |
| ★ 稗原小学校（毎週土曜9:00～13:00） | ★ 金程小学校（毎週日曜9:00～13:00） |

詳しい利用方法や開放日のカレンダーはホームページでご確認ください。

【<http://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000018464.html>】

※インターネットで「川崎市教育委員会 学校図書館の市民利用」と入力して、検索してください。

◆お問い合わせ◆ 教育委員会事務局生涯学習推進課 電話 044-200-3303（平日 8:30～17:15）



川崎フロンターレと本を読もう！

川崎市立図書館ではサッカーJ1チームの川崎フロンターレと協働で、サッカーと読書を盛り上げる活動をしています。本事業は今年で10年目を迎えました。

リーフレット

「キックオフ！ “読書のまち かわさき”」 Vol.10

フロンターレ選手が推薦する図書を掲載したリーフレットを今年も作成しました。第10号の節目を迎えた今号のテーマは、「家で読書を楽しもう」。子どもを持つ選手たちが家で家族と一緒に読んだ本や、家で読みたいお薦め本などを、コメントつきで紹介しています。川崎市立図書館等で配布中ですので、ぜひ手に取ってご覧ください。



図書館長

お薦めの一冊



このコーナーでは、川崎市立図書館の館長がお薦めの1冊をご紹介します。

高津図書館橘分館長 **山田 哲郎**

■『父と子の多摩川探検隊 ー河口から水源へー』

遠藤 甲太 著

暇つぶしは、本屋に寄って本を見て回ることが多いです。見ていただけのつもりが、タイトルや表紙の雰囲気や衝動買いをしてしまうことも。しかし、買ったことに満足して、ほとんどが“本棚の肥やし”と化しています。そんな私が、今回このコーナーを担当することになり、さて、何を書こうかと思案しながらも、我が家の積読（つんどく）書の中から探す気にはならず、当館の予約書棚を見ていて発見したのが、この「父と子の多摩川探検隊」です。

詩人・エッセイストである著者が、中学生の息子と連れ立って、2003年の春から1年あまりをかけて、親子で多摩川の河口から水源までの旅をした旅行記です。実は、私も山好きな友人とかつて多摩川の水源を訪ねた（2005年の夏から冬にかけて）ことがあり、思わず懐かしさにこの本を手にとったという次第です。

著者は、12歳のときから詩作と山登り（岩登り）を始め、中学・高校のころは奥多摩の谷々に足繁く通い、後にカラコルム・ラトック1峰をはじめ、谷川岳などで数多くの岩壁の初登攀記録をもっている強者です。

この本の特徴的なところは、著者の主観と息子との対

話で進行し、その部分は明朝体で表現しながら、これに対する息子の独白をゴシック体で描いていることです。また、著者が言うところの“図鑑オタク”である息子によって多摩川の生態系が説明され、博識な著者は、多摩川各所の由来やエピソードを語るという手法で多摩川への興味をそらせてくれます。

低流域のなじみ深い多摩川を改めて知る良い機会となる

とともに、上流域はかなりハードな山行が描かれており、まるで、自分が多摩川を探検しているような気分になさてくれた一冊です。



父と子の多摩川探検隊
遠藤甲太著 平凡社

■高津図書館橘分館（プラザ橘）

館から数分という最寄駅はありません。JR武蔵新城駅、武蔵溝ノ口駅又は武蔵小杉駅からバスで20分から30分かかります。「子母口住宅前」のバス停を下車して、さらに徒歩8分。ちょっと不便ですが、橘地区は、豊かな自然があり、都市農業が盛んに行われ、さまざまな史跡など歴史資産を有する地域です。

のどかな佇まいの「プラたち」（プラザ橘）は、地域の子どもからお年寄りまでたくさんの方にご利用いただいているほか、すぐお隣の横浜市からいらっしゃる利用者も多いです。

毎週水曜日に開催する読み聞かせボランティアによる「おはなし会」や季節ごとに開催する「親子で楽しむおはなし会」など行っています。お近くに来られた時は、ぜひお立ち寄りください。

おかげさまでプラザ橘は
10月7日で開館25周年を迎えます。

25th

地域資料企画展 明治150年と川崎

平成30年（2018年）は、明治元年から満150年目にあたります。

川崎市立図書館では、各館（分館・閲覧所を除く）巡回で「明治時代の川崎」をテーマに、当時の風俗が読みとれる錦絵や村ごとの古地図などをそろえた展示を実施しています。

今後の巡回日程は次のとおりです。

- ◆ 麻生図書館 9月24日（月）～10月 7日（日）
- ◆ 幸 図書館 10月17日（水）～11月18日（日）
- ◆ 多摩図書館 11月23日（金）～12月 3日（月）
- ◆ 川崎図書館 12月 8日（土）～12月25日（火）

※中原図書館・高津図書館・宮前図書館は終了いたしました。



神奈川県立川崎図書館との連携イベント

今年高津区内に移転した神奈川県立川崎図書館と、中原図書館の合同見学会を実施予定です。

【実施日時】平成30年12月1日（土）

※スケジュール等詳細については、後日館内掲示やチラシ等でお知らせいたします。

編集・発行 川崎市立中原図書館

〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-1301

TEL044-722-4932

川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413)

麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550)

橘 分館(788-1531)

幸 図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918)

田島分館(333-9120)

柿生分館(986-6470)

中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400)

日吉分館(587-1491)

菅閲覧所(946-3271)